

## 患者図書室と市立図書館 闘病記文庫の連携から 始まったコラボレーション

### ～ きっかけと変遷 そして次へ「つなぐ」～

岐阜県立多治見病院 がん相談支援センター 土屋あすか  
岐阜県立多治見病院 図書室 原 紀子  
多治見市図書館 中島ゆかり

参考資料も併せて  
ご覧くださいね。

1

## 岐阜県におけるがん対策

■第2次ヘルスプランぎふ21  
**がんの死亡者の減少は、岐阜県の政策でも重点目標**

■第2次岐阜県がん対策推進計画アクションプラン  
※「4 がんに関する相談支援及び情報提供」では、  
評価指標として、「がん闘病記コーナーがある図書館数」を挙げている

また、重点事項として下記が挙げられている  
・多様ながん相談のニーズに応じることができるよう、がん相談支援センター等  
を更に充実させる  
・がんに関する正しい情報を速やかに提供できる体制を整備する

**地域がん診療拠点病院としての多治見病院**

2

## 岐阜県立多治見病院がん相談支援センター

地域がん診療連携拠点病院の役割として設置しています。  
がん相談のなかでは、がん就労支援も行っています。  
相談対象はがん患者さんやご家族だけでなく、  
地域の医療従事者からの相談にも対応しています。

相談時間：月曜日～金曜日（祝祭日は除く） 9:00～16:00

※お電話でも相談できます

※完全予約制となります

専属の担当相談員が対応いたします

相談内容に応じて、医師・看護師・  
緩和ケアチーム・ソーシャルワーカー・薬剤師・  
栄養士などと連携を取りながらお答えします

国が指定した研修を修了  
した相談員は、「がん相談  
支援センター」のロゴをかた  
どったバッジをつけています

3

## きっかけ①～看護師編～

岐阜県立多治見病院 がん相談支援センター 土屋あすか

4

### 図書館

自分の人生の節目に...



### 看護

人間の「**安寧**」に焦点  
看護の基本的責任  
**健康の増進** 疾病の予防  
健康の回復 苦痛の緩和  
看護の姿勢  
**アドボカシー** 責務  
協力 ケアリング

### 健康

Health is a state of complete physical, mental and social **well-being** and not merely the absence of disease or infirmity. (WHO憲章)

病いと共に前に向かい生きる力 → Well-Being  
そこには、自分で決定する(自律)が重要  
→ **意思決定への支援が大切**

## 患者にとっての**病いillness** (≠疾患disease) を支援するのか看護師

病いillness	疾患disease
人間的概念	生物学的概念
個人的	一般的
疾患をその担い手である人間ひとりひとりがどう受け止め対処するか → 生き方と態度(こころの問題)	生物として避けられぬ衰退減少 → 大自然の法則
<b>Careで支えられるもの</b>	<b>Cureが支えているもの</b>

私達は病気ではなく  
「病と共にある人」に関わっているということを意識する

### 原さんとの出会い

こんな規模の組織の病院に司書さんがいるなんて贅沢♡



### 閑散とした患者図書室

もっと有効的な空間の利用をできないか  
病院にある図書館だからこそできることはないだろうか？

### 原さんからの提案

質研との出会い  
質研からの学び

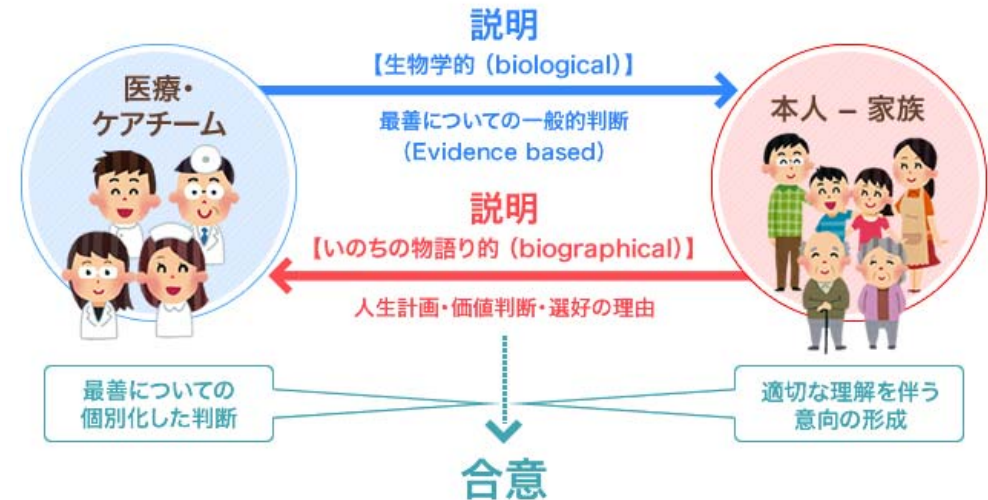
いろいろな形での意思決定支援を充実させたい!!!

ヘルスリテラシーを支える場を造りたい!!!

**野望①**

ヘルスリテラシーを支える場を造る!!!

## インフォームド・コンセントのプロセス



<情報共有 - 合意モデル>

# 意思決定支援

- ◆「病い」と直面した時、私たちは人生に関わる重要な意思決定を迫られる
- ◆健康や医療に関する多くの情報が混在する中で、私たちは自分の人生にとって何が最善の選択か(QOL)を意思決定していかなければならない
- ◆ヘルスリテラシー“健康や医療に関する情報を探し、理解し、評価し、活用できる力”は、患者や家族の意思決定能力を高め、病いと向き合う力へつながる
- ◆患者や家族の権利を擁護する看護師の果たす重要な支援である

9



## さらなる野望②

ヘルスリテラシーを  
高める支援の展望

- ◆ 広報活動  
医療図書の存在を医療職にも理解してもらい繋いでもらう
- ◆ 連携体制づくり  
患者図書室でスクリーニング  
→がん相談や看護相談外来に繋いでもらう
- ◆ 健康教育の場作り  
患者図書室で勉強会を企画、本を通じて院内の医療職と話す機会をつくる

10

## きっかけ②・患者図書室の取り組み ～病院司書編～

岐阜県立多治見病院 図書室 原紀子

11

## 患者図書室プロジェクト応募までのあゆみ

2008年東海地区医学図書館協議会研修会  
患者さんへの医学・医療情報提供実情を学び、担当者の  
スキルとモチベーションでできることがあると知り、感動する。



2010年  
「公共図書館における健康・医療情報サービス」研修会  
中島さん、前館長さんと出会い、小さな連携がスタート



2012年「患者図書室プロジェクト」を知る  
土屋さんと共に応募することを決意。  
多治見市図書館との連携が強みとなった。



患者図書室プロジェクト応募動画

12

# 当院患者図書室の目的

(配付資料もご参照ください)

闘病中であっても、その人らしい時間を過ごせる  
憩いの場

病と向き合うために必要な情報を提供する場

闘病中も、日常生活のなかでも、  
いつでもその人らしい生き方を支えたい



# ヘルスリテラシー向上支援

- ①信頼性の高い医療情報を選択し、設置、わかりやすく使ってもらえる棚づくり
  - ②資料の探し方などの相談に対応する担当者
  - ③院内スタッフから患者さんへ、図書室を利用して頂く仕組み
  - ④健康講座などのイベント開催
- 今後の課題もしくは野望

専門家との相談が必要な場合は、下記へつなぐ

◆院内の相談窓口 がん相談、医療相談室、よろず相談窓口

でも・・・病院では置けない資料もある。  
多治見市図書館の闘病記文庫や鈴と小鳥文庫、家庭介護コーナーは秀逸！！

# 病気と向き合う人とその家族を支える図書館



# 患者図書室利用者の声

## ①患者図書室アンケート(意見)から

- ・同じ難病の方の体験談を読みたい
- ・がんを告知されてショックを受けた場合などは、あたたかな随筆など折々手にして読めるものが可

補足：常時設置。改善の意見は毎月事務内で回覧、検討を行い、回答を掲示。  
また患者図書室部会で報告し、今後の運営について協議する。

## ②受付への問い合わせ

- ・「〇〇」という図書は置いているか(小説や闘病記)  
→ 団体貸出を行う前には、多治見市図書館の所蔵を照会  
団体貸出後は所蔵図書を患者図書室へ届けて頂いた
- ・がんの治療について、手術か抗がん剤か選択するよう言われた。  
どうしたらよいのか悩み、選択するために必要な情報を探しに来た。  
→ 当室の資料では不十分と思い、がん看護専門看護師へ連絡  
がん相談の予約を取る

連携しているからこそ

がん患者さんからの相談も

地域の情報が集まる公共図書館は暮らしを支える情報も満載



## 院内の連携:「組織として」動くことの大切さ

- ・ 上層部に理解されていることで、行動しやすくなった
- ・ 「患者図書室部会」により、他職種のスタッフと協働できた
- ・ 上司の異動があっても、担当として引き継いで頂けた

## 何より、「人」との出会いに恵まれた

■ 多治見市図書館の館長、中島さんが積極的に連携を進めてくださっている  
闘病記文庫設置、お便りのお届け、団体貸出、患者図書室部会オブザーバー

■ 看護部、上司、同僚やボランティアさんと運営に取り組み、相談しやすい環境

■ 医療連携室担当チーフが快くパンフレットやリーフレットを提供してくださる

原・土屋産休・育児休暇中も、中島さんや図書館長、上司、同僚、ボランティアさんに助けて頂いた

すべて「当たり前」ではない。  
支えられてきたことに感謝

この種火を絶やさず、長く灯していくためには？

17

## おまけ:当室でのがん患者さんへの情報提供



がん関連図書



各種がんに関する  
パンフレット、  
情報誌、  
相談窓口や院内  
がん患者サロン、  
患者会の案内



多治見市図書館  
闘病記文庫のリスト



18

## 次へ「つなぐ」 真の連携とは ～公共図書館司書編～

多治見市図書館 中島ゆかり

19

## 連携を考える

大規模なイベントを共催しているわけではない  
広報を積極的におこなっているわけではない

(2014年までの連携については拙著第100回全国図書館大会第21分科会事例報告発表資料をご参照ください  
<http://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/kenkou/20141101nakashimaHP.pdf> )

ではなぜ  
「多治見」が注目を集めるのか？

20

# 最高の喜びは最大のピンチ

喜びとともにある不安  
個人のつながりから  
生まれた連携の限界か？

原さんと土屋さん おふたりが  
ほぼ同時期(H27年秋頃～)に育休に入ること  
↓  
担当者の変更は連携において必ず直面する壁

種火は絶対に消さない！！  
では二人の育児休暇中をどう乗り越えるか

はじまりを共にした上司の異動

自分だって担当者として永遠ではない

真の連携は継続すること

課題：連携を継続する体制作り

21

# 連携を継続するために考える

原さんの代わりにはなれないけれど

←復帰した時の手助けになれるかも  
JMLAのWG委員に

連携を途切れさせない

毎月の『図書館だより』『たじみ昔かわら版』  
←上司には「郵送したら？」と言われたが形だけになる  
足で運ぶ顔を見て話すことを大切に考えた

自己研鑽を積む

←連携だけでなく自分自身のためにも  
ヘルスサイエンス情報専門員資格取得

研修会に参加するだけでなく  
発表や講師の機会は積極的に挑戦

←外からの評価で中の評価を勝ち取る作戦

22

# 病院では

原さんの完璧な引き継ぎ

←引き継ぎ担当者やボランティアさんが訪問すると  
いつも温かく迎えてくれて、困った時は助けてくれた

患者図書室部会は休止

←直接のやりとりはなくとも依頼に応じて  
チーフや部会の人たちが力になってくれた

育休中の二人にも

←これまでの積み重ね、一緒に話し合ったときにもらった言葉  
様々な場面でふたりの思いがいつも背中を押してくれた

人と人のつながり、その広がりが継続可能な  
連携を作り出すことを実感した期間

23

# 図書館では

医療情報コーナーに  
家庭介護、鈴木と小鳥文庫新設

←医療情報サービスが闘病記だけでなく  
周辺にも広がる

休職中も原さんが図書館に  
利用者として来てくれた

病院関係者、図書館関係者含め  
←途絶えずに交流していたことが  
復帰後のつながりもスムーズに

土屋さんからの紹介で長年の夢だった  
がんサロンを図書館で行うことが実現する

←現在も月1回のペースで活動中

人事異動で組織の体制が変わっ  
ても県病院との連携を重点項目に

←組織内で経緯や成果を共有し、組織と組織が  
つながっていれば連携は継続して成立する！

組織と組織の連携はひとりひとり全員の力と  
心の寄り添いと協力があってこそ

24

# 連携は形だけでは続かない

## 「協働」の姿勢こそ真の「連携」につながる

誰のために何のためにやっているのかを実感し  
それぞれが目指す方向へ共に協力する

方向とは  
「病気を患っていても、わたしたちの町で健やかに豊かな心を保ち幸せに暮らすこと」

相手を尊敬し思いやりの気持ちを忘れない

連携の鍵となるのは「人」 さらに  
↑ 組織内で人と人の関係を作り出すことが継続への鍵となる

連携を継続するためには「組織」のつながりを強固にすること

チャンスを活かし事実を意識的に作り出すことも大切

# 連携とは継続なり

単発で終わっては意味がない

## 連携は継続して初めて意味を成す

まずは隣の人との名刺交換から始めてみませんか



### 今後の目標

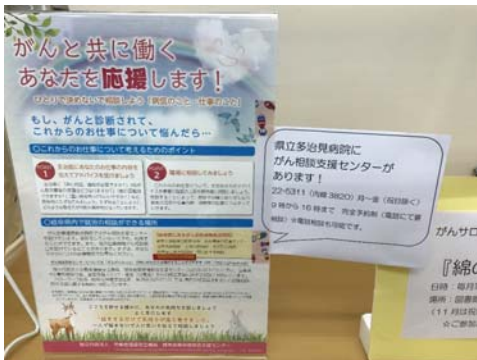
- 小中学校でのがん教育に関わる命の授業
- 柔軟な相互貸借
- 笑いヨガ教室
- がんサロンからのつながり事業

おまけ

## 図書館での広報

がん相談支援センターが市内にあることを知らない人が多い  
県病院に通院してなくても門戸が開かれていることを知らない人が多い

公共図書館利用者は幅広い  
病院に行く人だけが患者ではない  
(がん経験者として社会に復帰してから悩みを抱えることもたくさんある)



おまけ

## がんサロン綿の実会with図書館



毎月第1金曜日 14時から16時  
場所 図書館集会室  
事前申し込み不要  
☆たまにスペシャルバージョンあり  
8月はハーモニカ演奏とみんなで歌う会  
9月は豊橋創造大学看護学科の大野裕美先生を迎え勉強会と座談会

がんピアサポーター3名、図書館司書1名参加  
平均参加人数15名ほど 参考資料を持参  
がん看護専門看護師の土屋さんと大野先生がオブザーバーの役割を担ってくださっている

原則 がんサロンでの話は持ち帰らない  
互いを尊重する「語り合いの場」

参考:『がん専門相談員のためのがんサロンの設立と運営のヒント集』(公開PDFファイル)  
編集・発行:独立行政法人 国立がん研究センターがん対策情報センター[http://ganjoho.jp/data/hospital/consultation/files/salon\\_guide01.pdf](http://ganjoho.jp/data/hospital/consultation/files/salon_guide01.pdf)  
がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業『研修テキスト がんピアサポーター編～これからピアサポートをはじめる人へ』(公開PDFファイル) <http://www.icancer.jp/can-navi/wp-content/uploads/2015/10/00.pdf>

## 多治見市図書館 & 県立多治見病院患者図書室へようこそ！

### 多治見市図書館 (本館・子ども情報センター・笠原分館)

岐阜県多治見市豊岡町1丁目55番地 (JR多治見駅より徒歩5分)

ヤマカまなびパーク内2F・3F (事務所4F) 医療情報コーナーは3Fにあります

休館日 (毎週月曜、第3木曜日、年末年始) 平日10～20時、土日祝10～18時開館

多治見市図書館HP

<http://www.lib.tajimi.gifu.jp/>

多治見市図書館FB

<https://www.facebook.com/tajimilib>

### 県立多治見病院 患者図書室「ぬくた～らいぶらり」

岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地 (JR多治見駅より東鉄バスで10分、徒歩20分)

中・西病棟2Fにあります

入室日 (土日祝日、年末年始) 平日9～16時開室

貸出は入院患者のみ、ただし見学は自由

県立多治見病院HP

<http://www.tajimi-hospital.jp/>

患者図書室のご案内 (県立多治見病院HP内)

<http://www.tajimi-hospital.jp/outline/facilities/library.html>

## ご清聴ありがとうございました



多治見市図書館 医療情報コーナー-闘病記文庫



県立多治見病院 患者図書室 ぬくた～らいぶらり

ご質問などは下記メールアドレスへお気軽にどうぞ

県立多治見病院司書 原紀子 [hara-noriko@tajimi-hospital.jp](mailto:hara-noriko@tajimi-hospital.jp)

県立多治見病院がん看護専門看護師 土屋あすか [okumura-asuka@tajimi-hospital.jp](mailto:okumura-asuka@tajimi-hospital.jp)

多治見市図書館司書 中島ゆかり [y.nakashima@tajimi-bunka.or.jp](mailto:y.nakashima@tajimi-bunka.or.jp)